

2

商業者アンケート調査

2 . 商業者アンケート調査

(1) 調査概要

福生市内の商業者の現状を把握・分析するため、以下の通りアンケート調査を実施した。

調査時期・対象 (表にまとめる)

- ・時期 平成 21 年 5 月 18 日 ~ 6 月 3 日
- ・対象 福生市商工会会員及び商栄会会員計 1,271 先にアンケートを配布
- ・回収 937 先から回収 (回収率 73.7%)

調査項目

業種・経営規模・経営方針・経営上の問題点などの他、商店街活動、商店会への取組方針などについて意見を収集

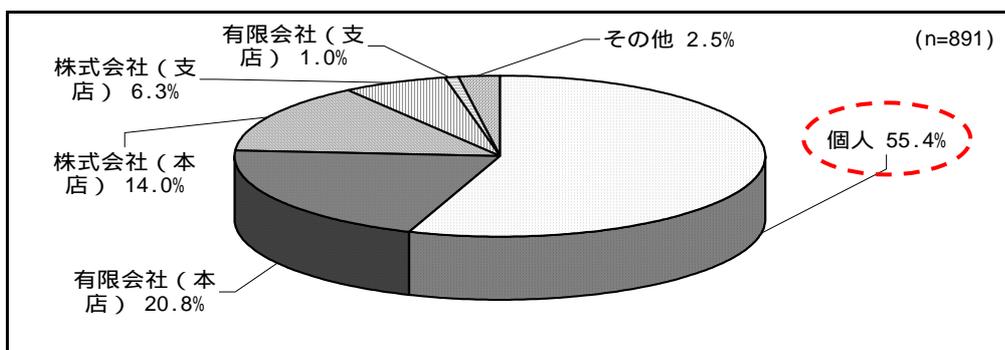
(2) 調査結果

商店、事業所について

過半数が個人事業主となっている。

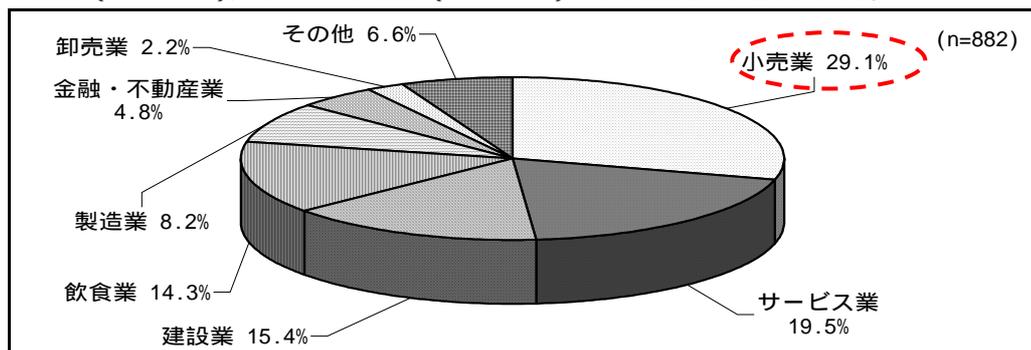
01) 組織形態

個人が 55.4% と半数以上を占め、有限会社 (本店) が次いだ。



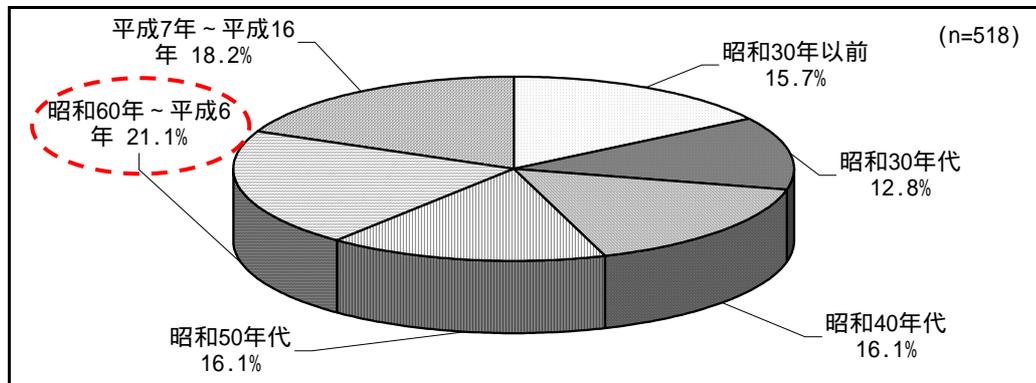
02) 業種

小売業 (29.1%)、サービス業 (19.5%) で半数近くを占めた。



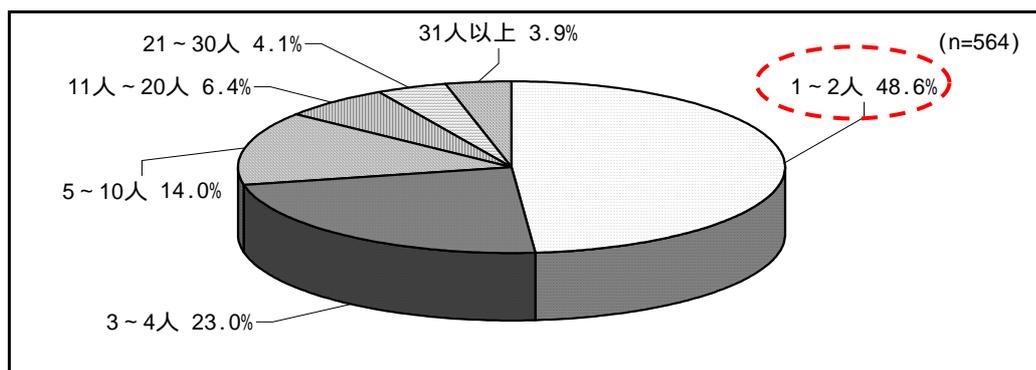
03) 現在地での開業年

昭和 60 年～平成 6 年が 21.1%と最も多く、人口が最も増加した時期と符合している。一方、昭和 30 年以前が 15.7%、昭和 30 年代が 12.8%あり、50 年以上続いている事業所が約 1/4 ある。



04) 従業者数 (含む営業者、パート)

従業者数 1～2 人が 48.6%と最も多く、次いで 3～4 人が 23.0%となっており、4 人以下の零細企業が 71.6%を占めている。

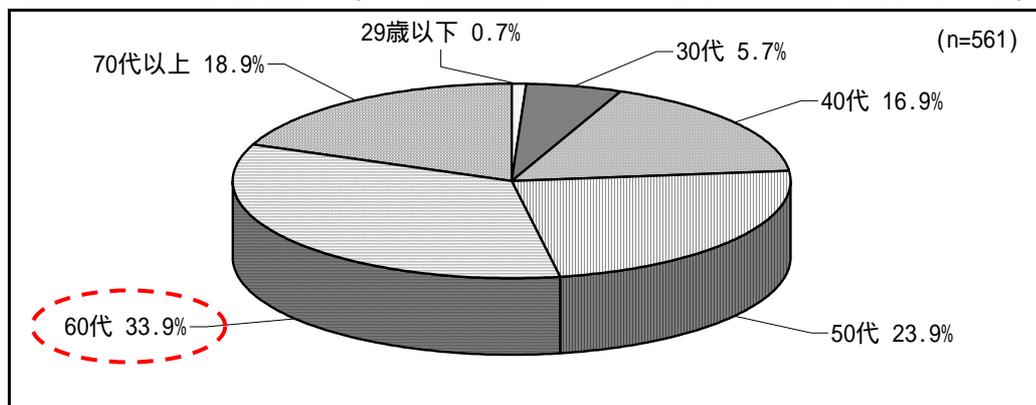


経営者、後継者について

経営者は高齢化しており、2/3 が後継者がいないか決まっていない。

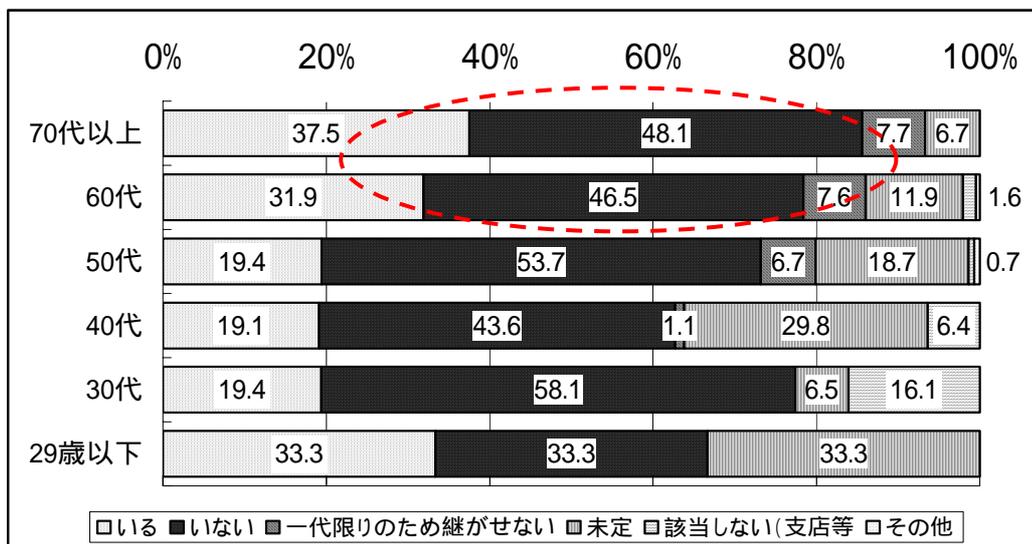
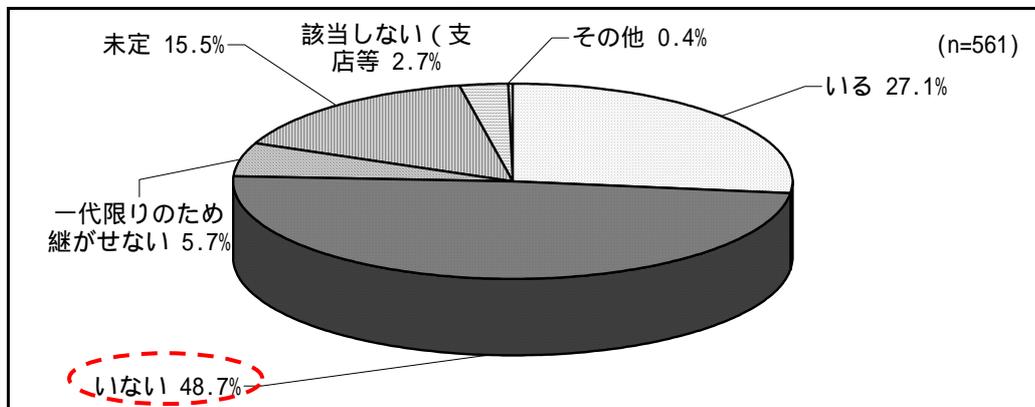
05) 経営者の年齢 (実質的な経営責任者)

60 代が 33.9%と最も多い。60 歳以上が 52.8%と半数以上に達している。



06)後継者

後継者がいないと答えた経営者は 48.7%であり、後継者がいるという回答を大きく上回っている。また、未定でまだ決まっていない経営者は 15.5%となっている。これを前述の経営者の年齢別に整理してみると、60代以上でも 45%以上が後継者がいないと回答している。

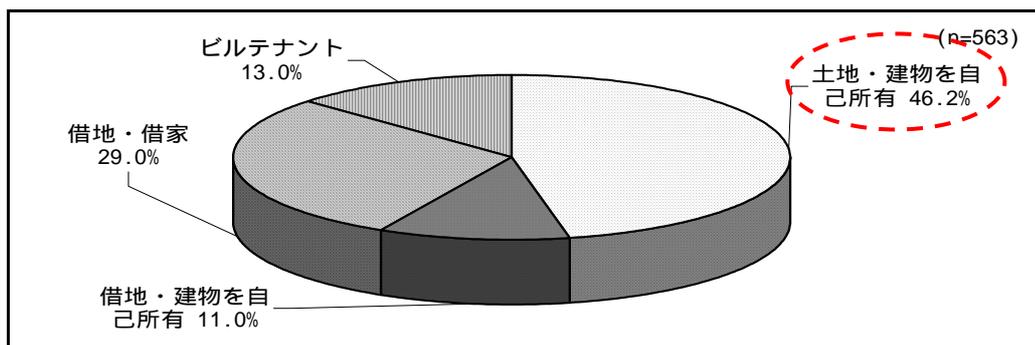


店舗について

約半数が店舗を自己所有しており、約半数が店舗と同じところに居住している。

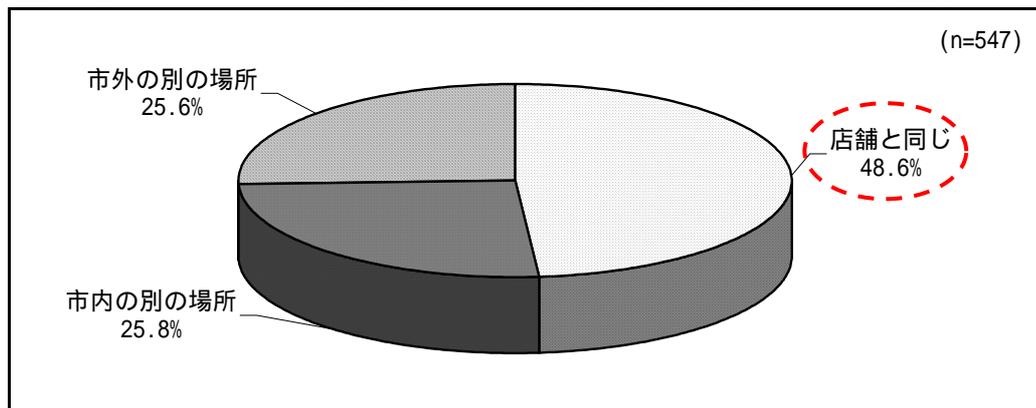
07)店舗の保有状況

土地・建物を自己所有しているのは 46.2%、借地・借家は 29.0%であった。



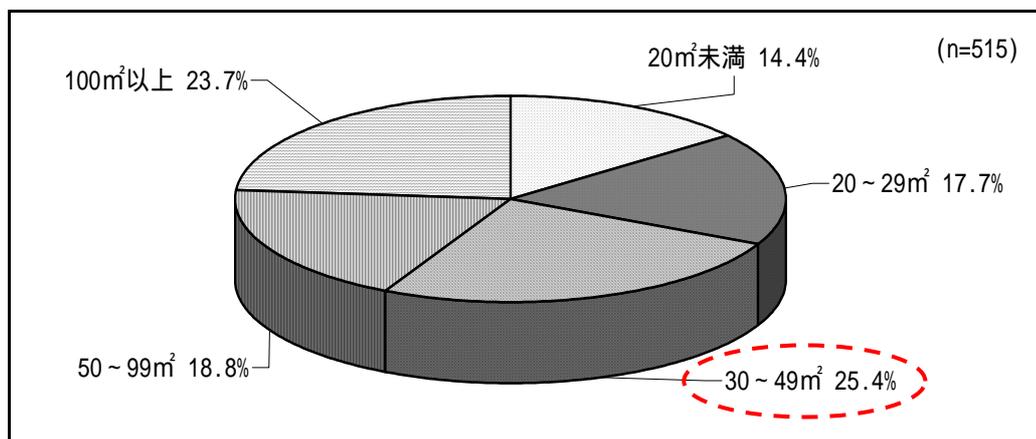
08) 自宅の場所

店舗と同じが 48.6%で、前問の土地・建物を自己所有している割合に近い。



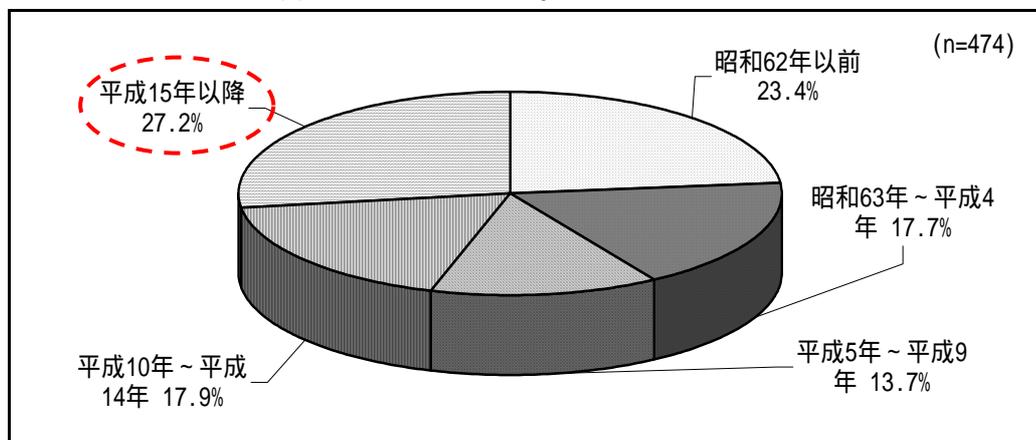
09) 店舗面積

30 ~ 49 m²の割合が最も多く、商店街の店舗としては比較的間口が広い店舗が多い。



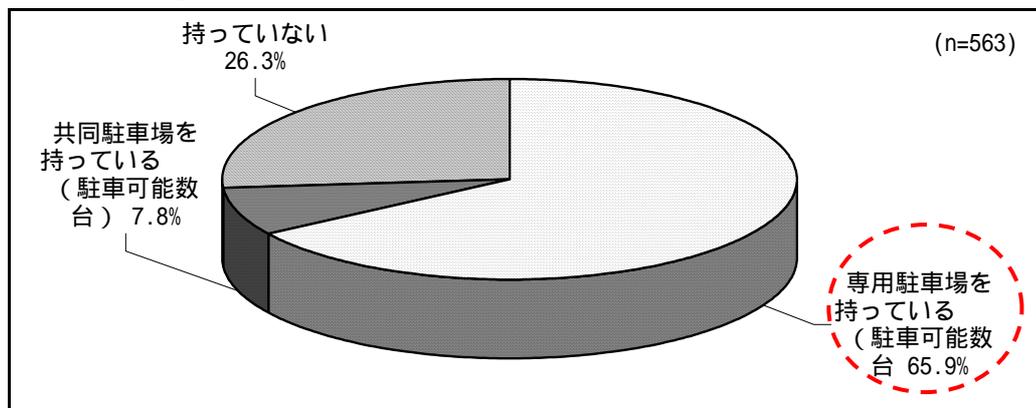
10) 店舗の改装時期

約半数近くに当たる店舗がここ 10 年以内で改装している。一方で昭和 62 年以前に改装したままの店舗が 23.4%ある。



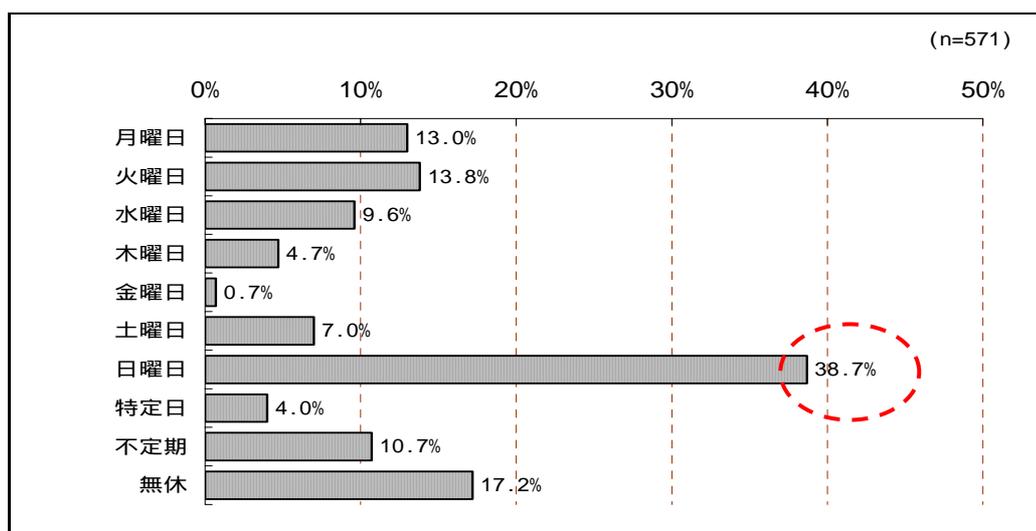
11) 駐車場の所有

専用駐車場を持っている割合が 65.9%、共同駐車場を持っている割合が 7.8% となっている。



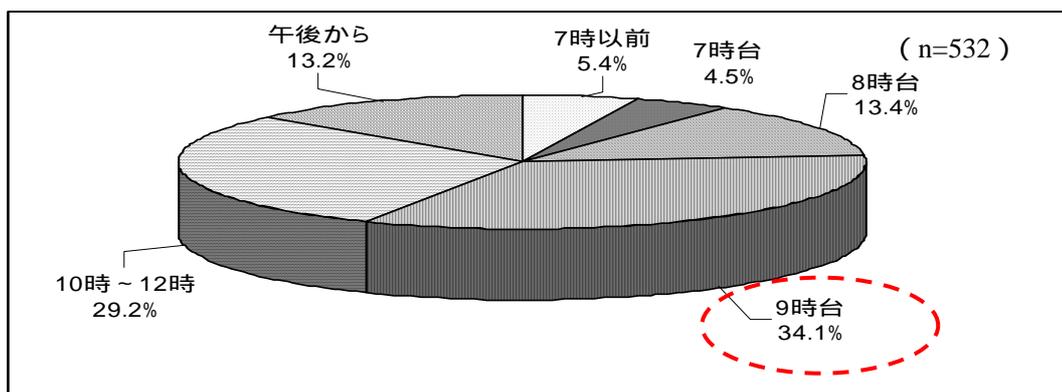
12) 定休日

日曜日が最も多く 38.7% を占めており、40% 以上が土日を定休日としている。



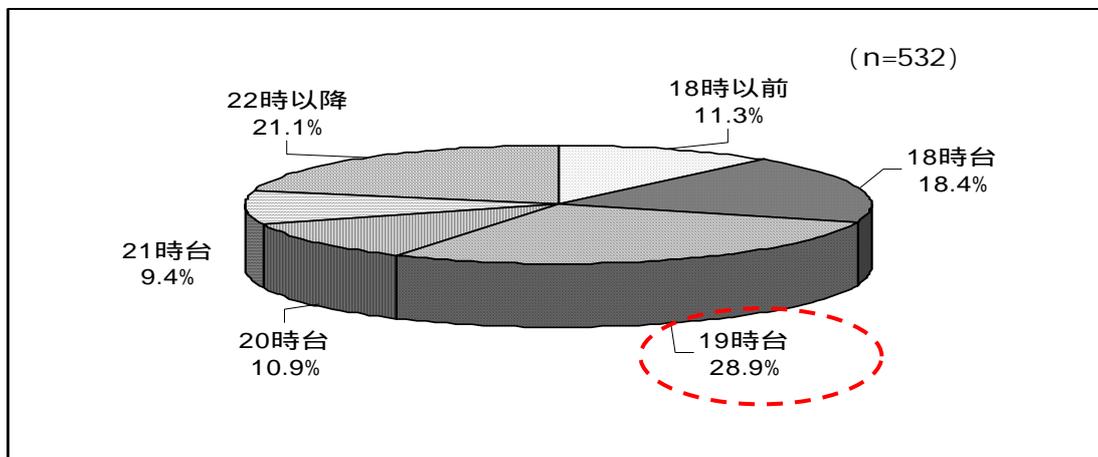
13) 営業時間 (開店時間)

開店時間は、9 時台が 34.1% と最も多い



14) 営業時間 (閉店時間)

19 時台が最も多く 28.9%を占めている。18 時台が 18.4%、18 時以前が 11.3%と比較的早く閉店する店舗も多い。なお、20 時以降の閉店と回答した商業者のうち、70.9%が飲食店であった。

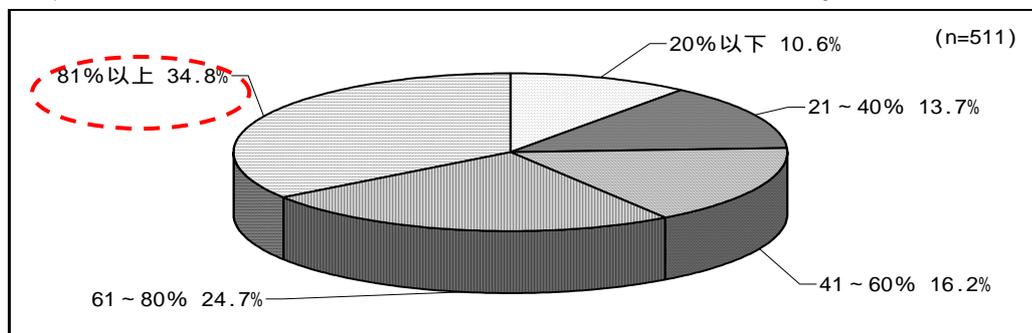


顧客について

固定客の割合が非常に高く、また高齢者が多い。

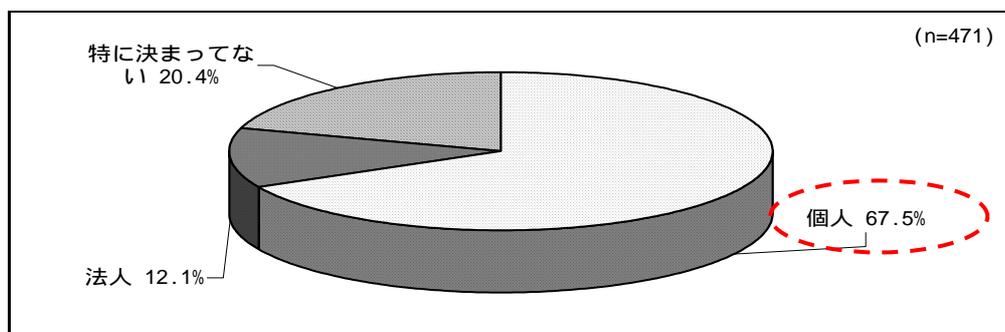
15) 固定客の割合

81%以上を固定客が占めるとい回答が 34.8%を占め、最大となっているとともに、固定客の割合が高い順に回答者数も多くなっている。



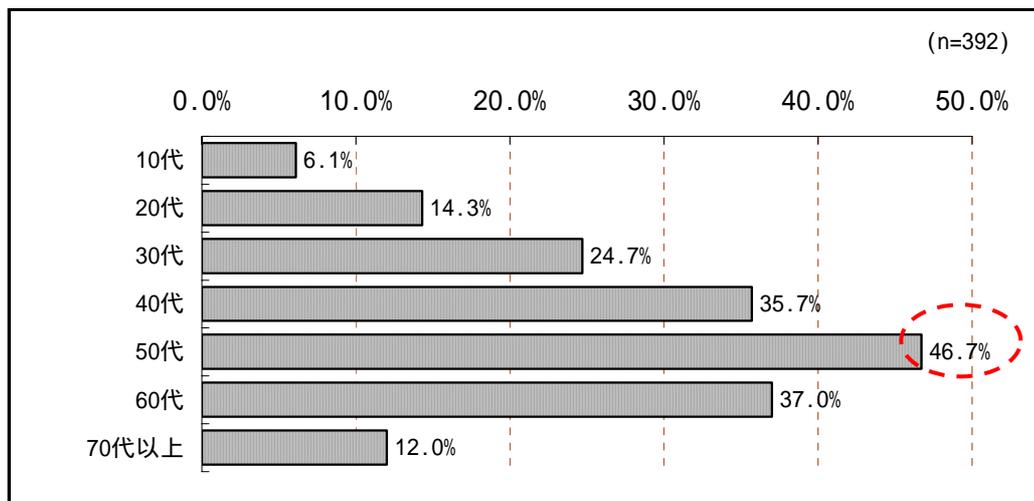
16) 主な顧客層

個人が 67.5%を占めており、次いで特に決まていない 20.4%となっている。



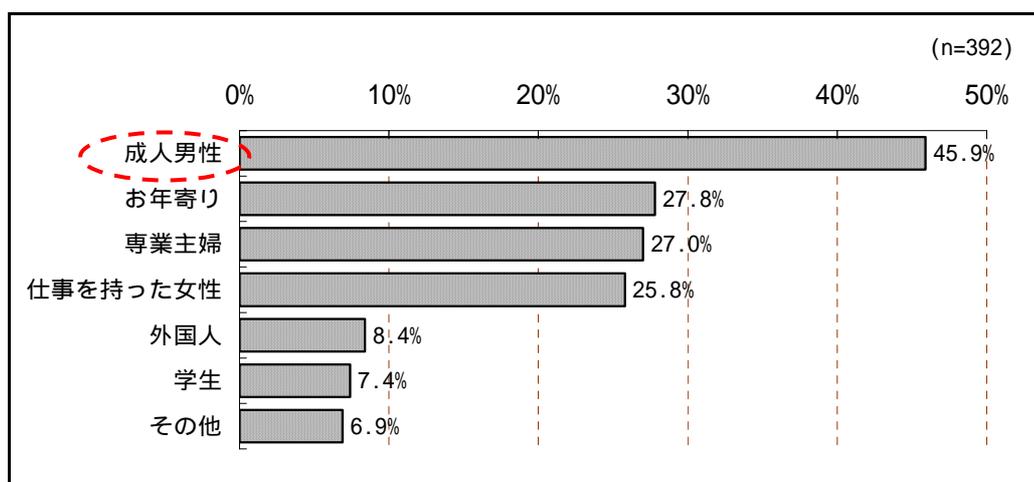
17) 主な顧客層 (個人と回答した方のみ)

50代が46.7%と最も多い。一方で、20代は14.3%となっている。



18) 主な顧客層 (顧客のタイプ)

成人男性が45.9%と最も多く、お年寄りが27.8%と次ぐ。外国人は8.4%、学生は7.4%となっている。

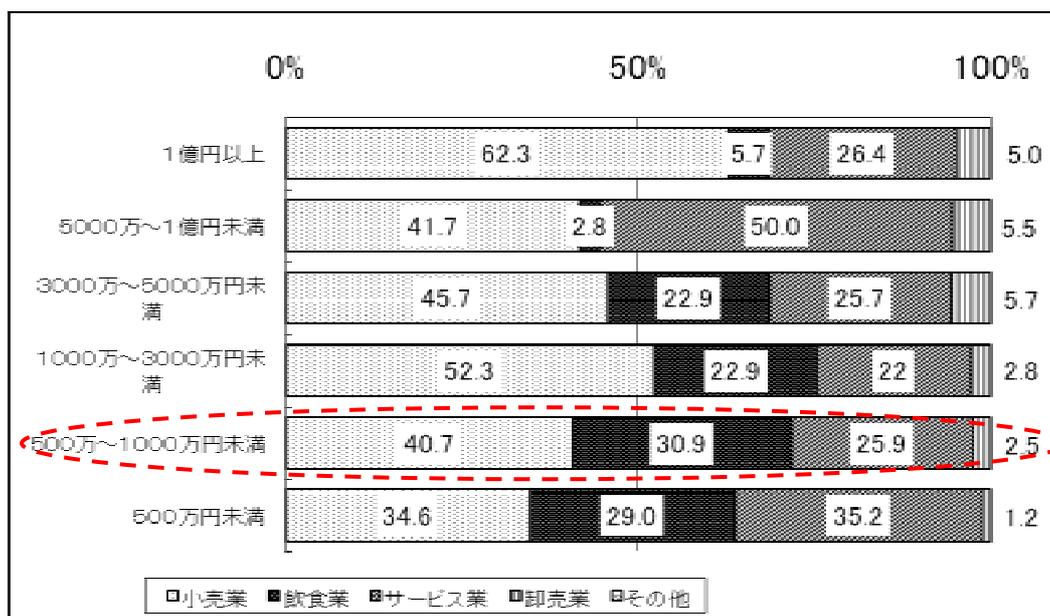
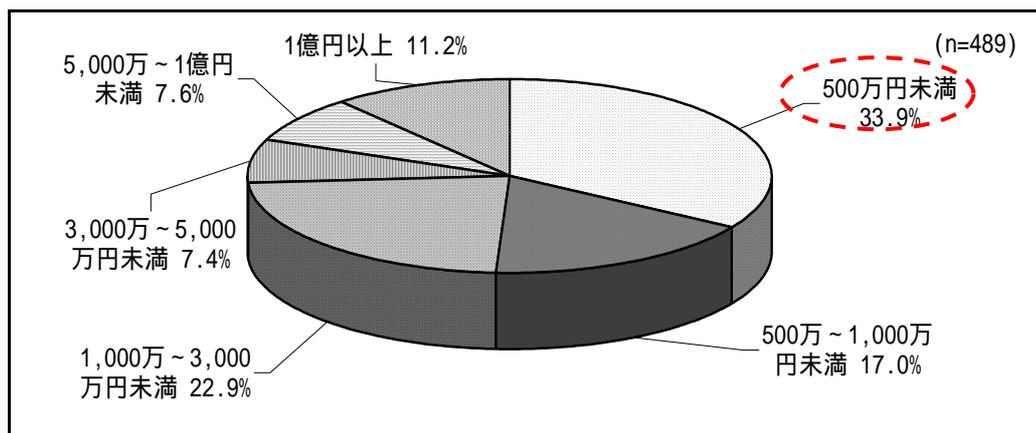


業績について

小規模な小売業、飲食業、サービス業が多い。

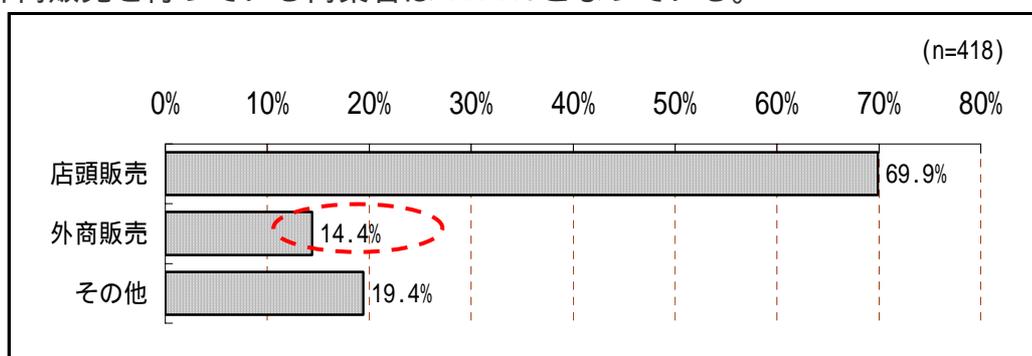
19) 直近期の売上高

直近期の売上高は、500万円未満が最も多く33.9%を占め、1,000万円未満を合計すると50.9%に達している。この内訳を業種ごとに整理すると、サービス業、小売業で小規模な売上高としている商業者が多い。



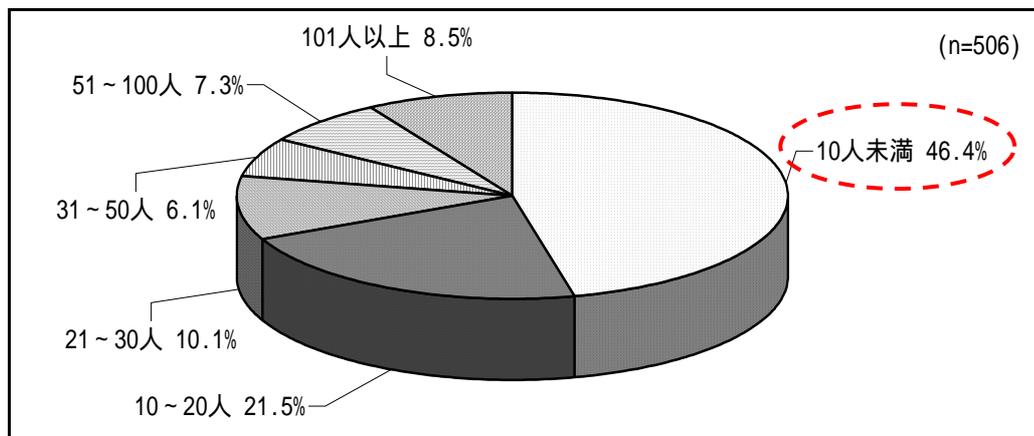
20) 主な販売方法

外商販売を行っている商業者は 14.4% となっている。

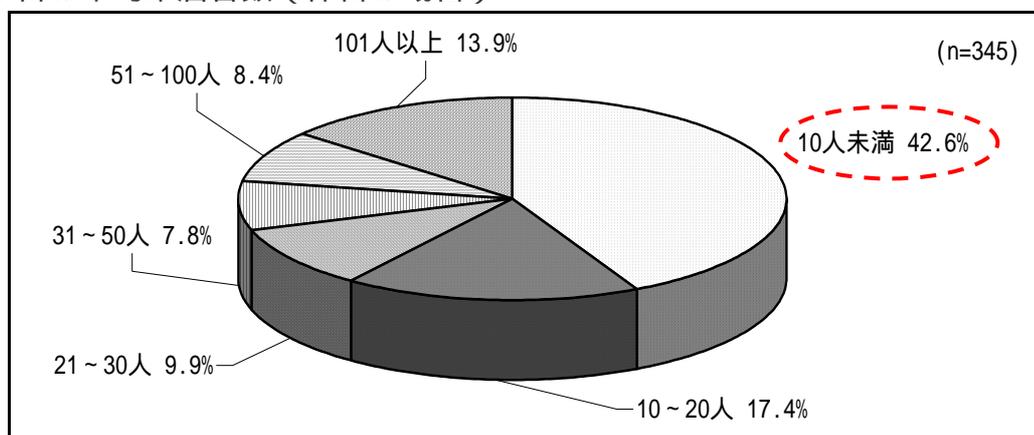


21) 1日の平均来店客数（平日の場合）

10人未満が平日で46.4%、休日も42.6%と最も多くなっている。

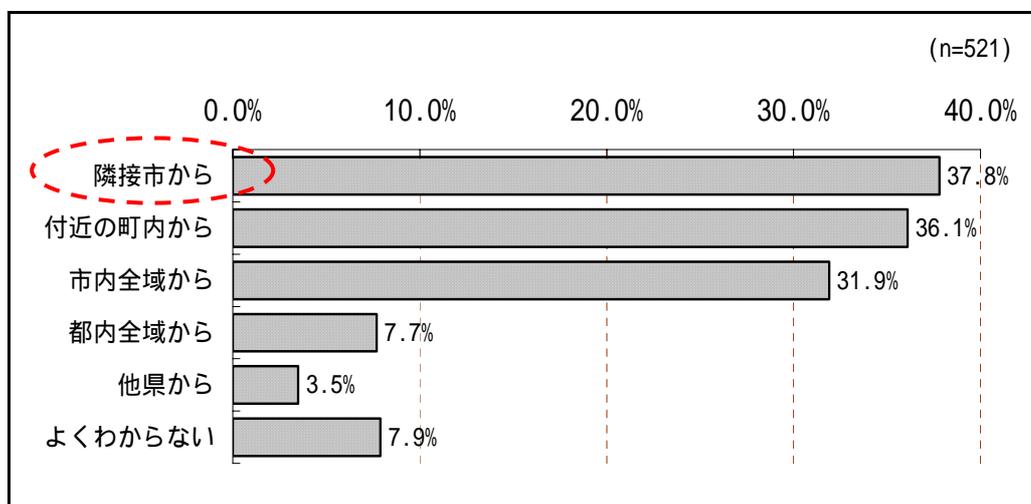


22) 1日の平均来店客数（休日の場合）



23) 顧客の来店範囲

顧客の来店範囲は、隣接市からの割合が37.8%と最も多かった。福生市内からと考えているのが68.0%となり、約3/2である。

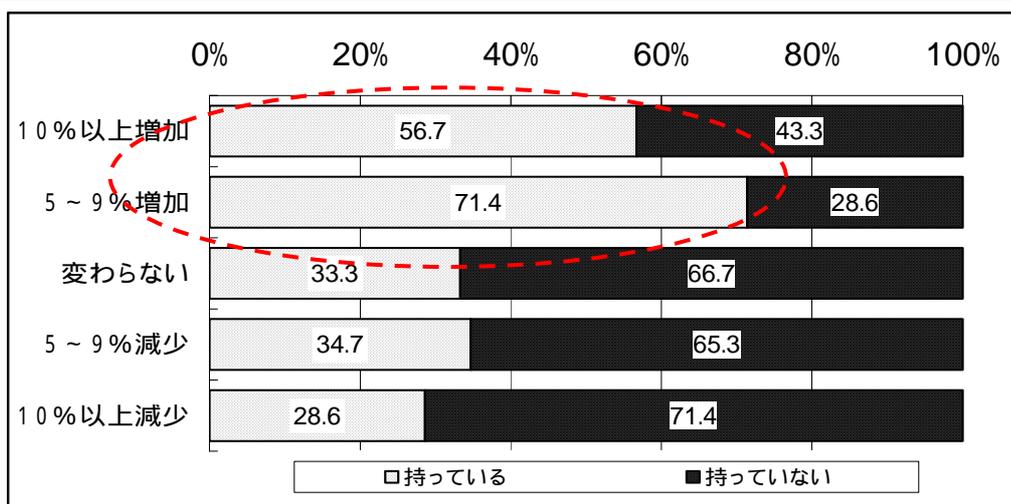
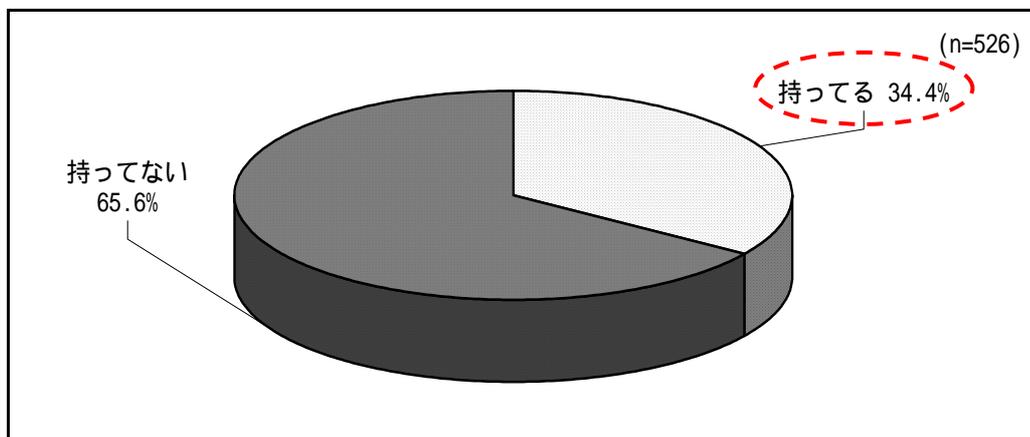


ホームページ、顧客名簿について

売上高を増加させている商業者は、ホームページを有していることが多い。

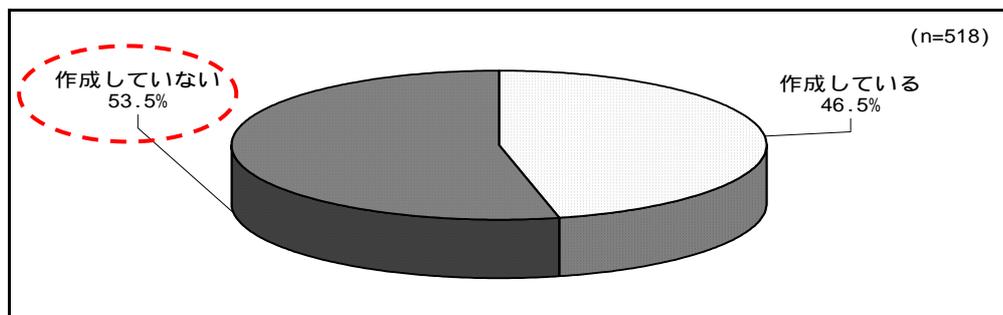
24) ホームページの保有

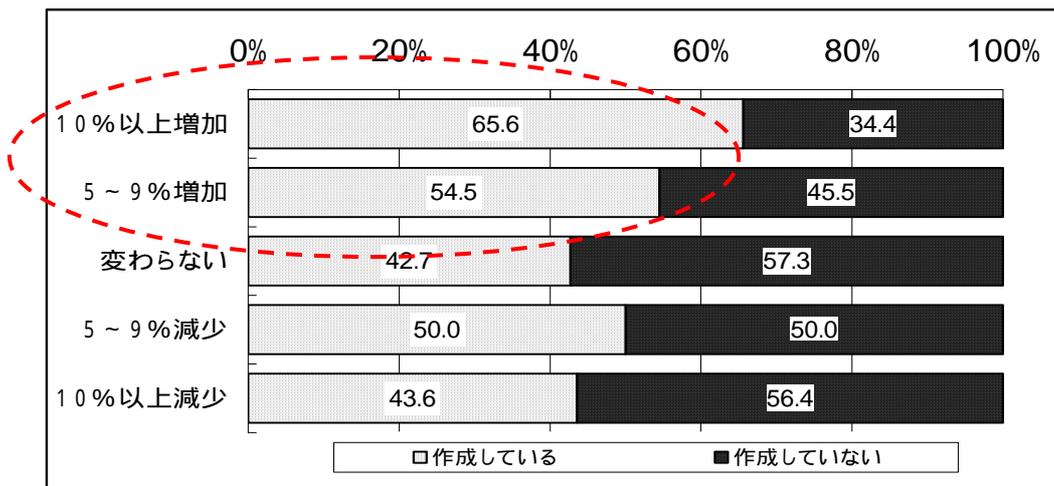
持っていないが 65.6%であった。売上高の推移を見ると、売上高を増加させている商業者の方がホームページを保有している割合が明らかに大きい。



25) 顧客名簿の作成

作成している割合は 46.5%となっている。売上高の推移を見ると、売上高を増加させている商業者の方が顧客名簿を作成している割合が大きい。



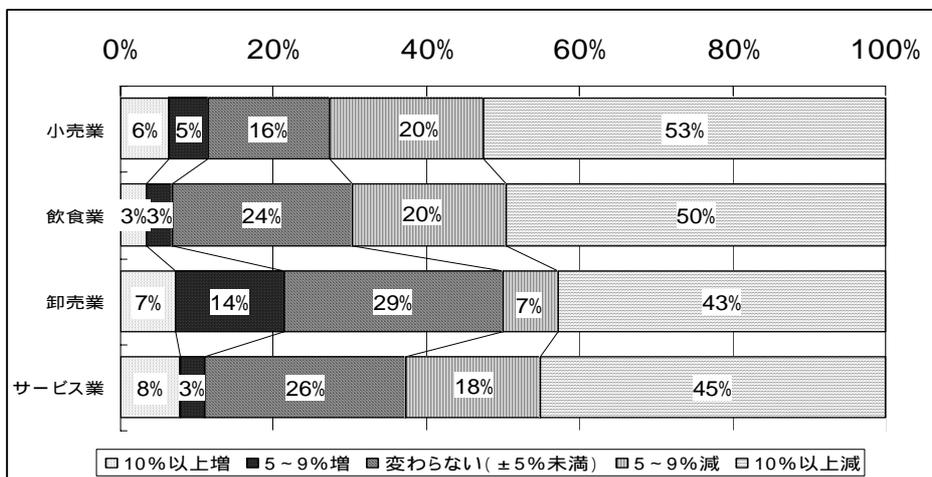
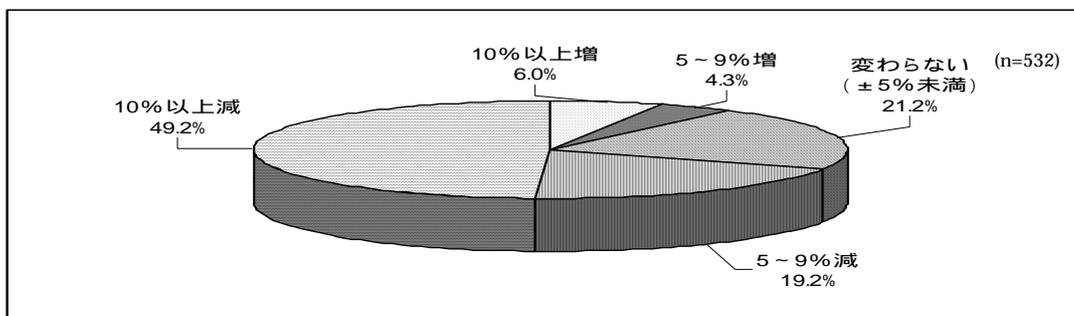


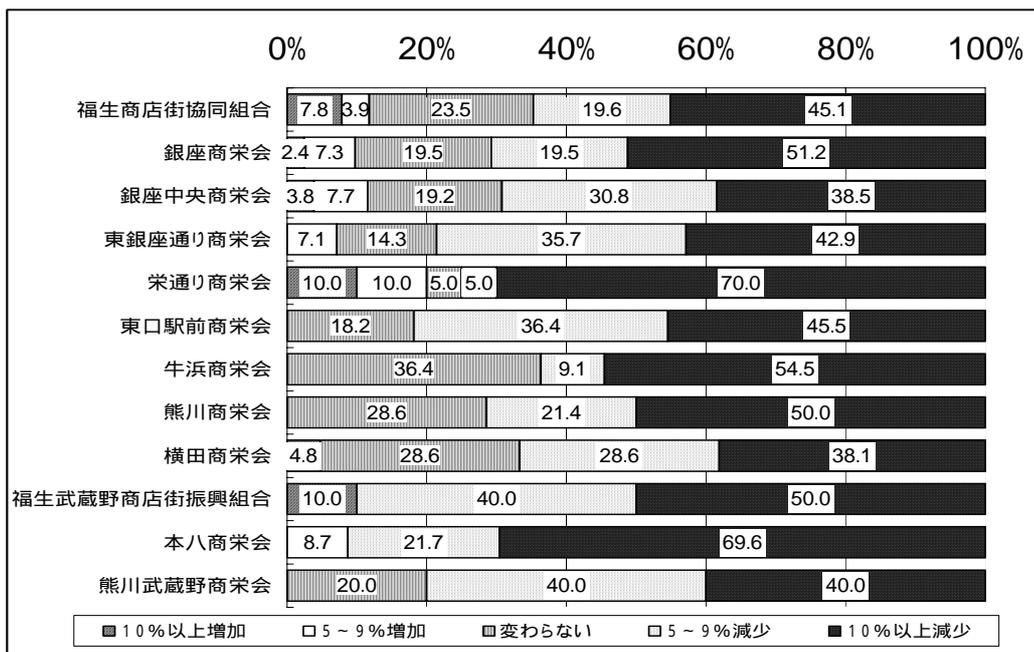
最近の業況について（2年前との比較）

約半数が大幅に売り上げを減少させている。

26) 売上高の推移

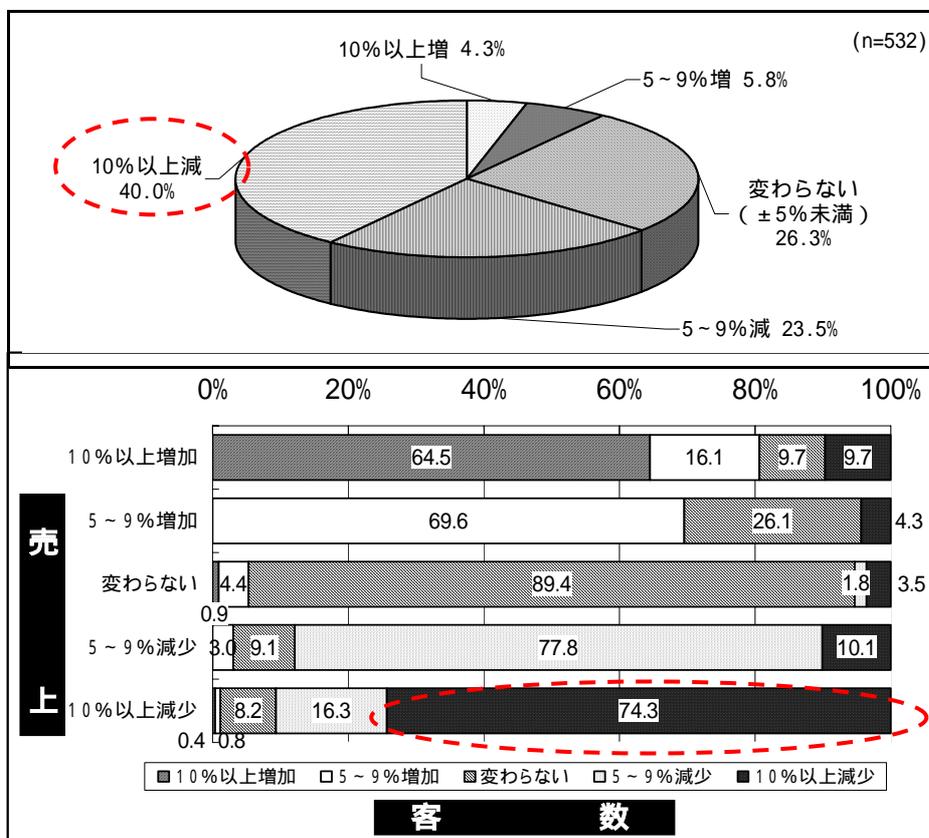
10%以上減少しているが49.2%を占めている。これを業種別にみると、小売業、飲食業で売り上げを減少させているところが多い。また、所属別にみると、本八商栄会、福生武蔵野商店街振興組合、東口駅前商栄会で減少しているところが特に多くなっている。





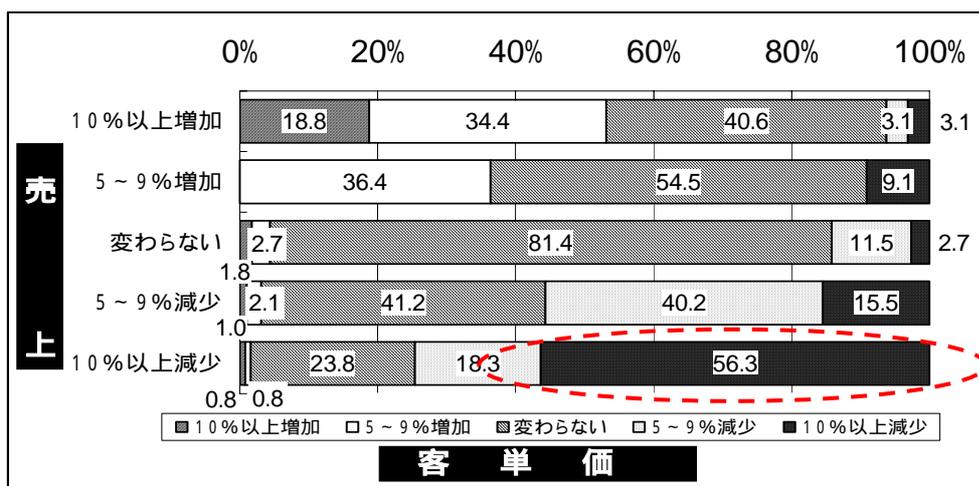
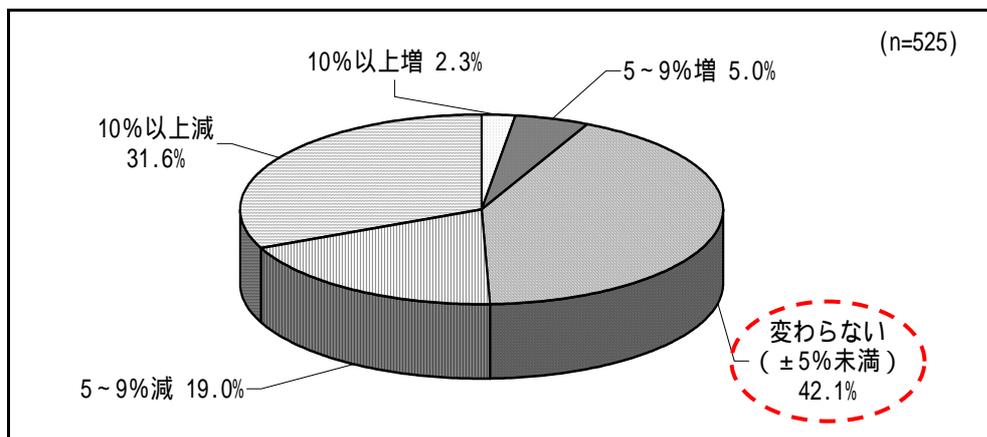
27) 客数の推移

売上高と同様、10%以上減少が40.0%で最も割合が多い。客数が減少したという回答は合計63.5%となっている。これを売上高の推移で整理してみると、売上高を増加させている商業者の70%前後が客数も増加させており、売上高が減少している商業者とは明らかに割合が異なる。



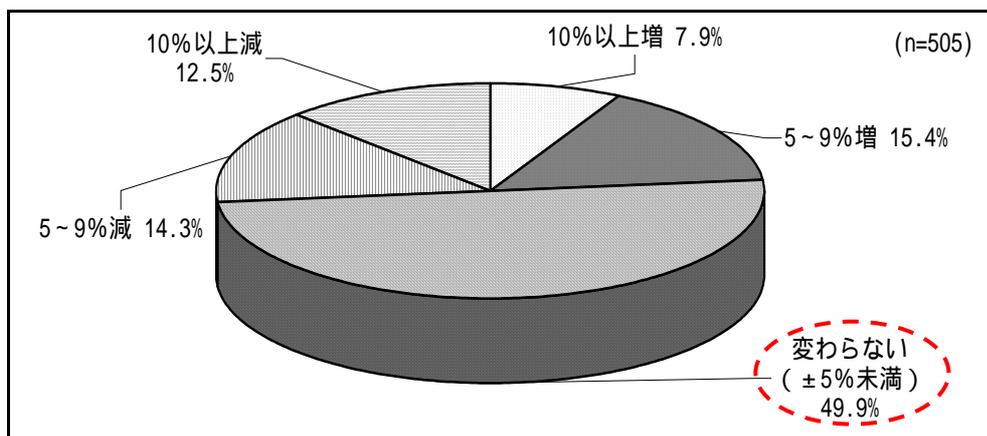
28) 客単価の推移

客単価は、変わらないが42.1%で割合が最も大きい、10%以上減少が31.6%、5～9%減少が19.0%で、合計すると50.6%で半数以上が減少している。これを売上高の推移で整理してみると、売上高を増加させている商業者は、横ばいもしくは減少させている商業者と比較して明らかに多くなっている。



29) 経費の推移

経費の推移は、変わらない (±5%未満) が最も割合が多く 49.9%を占めている。

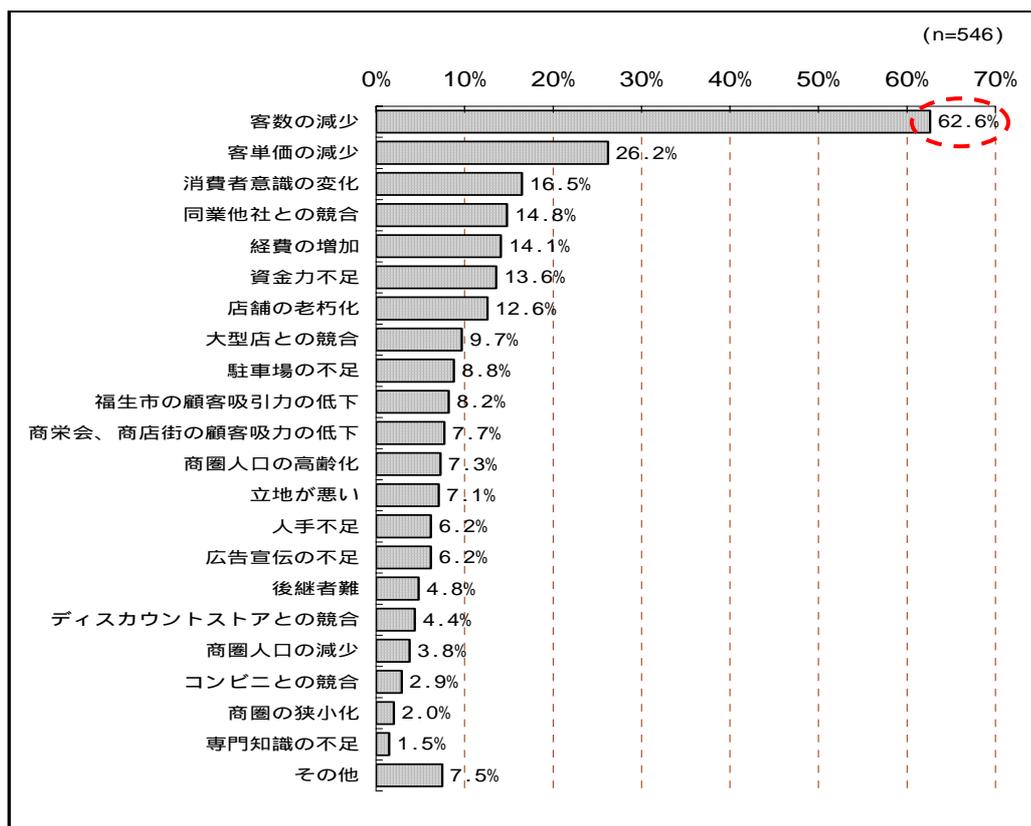


現在の経営上の問題点について

客数の減少、客単価の減少が深刻。

30)現在の経営上の問題点は何ですか。

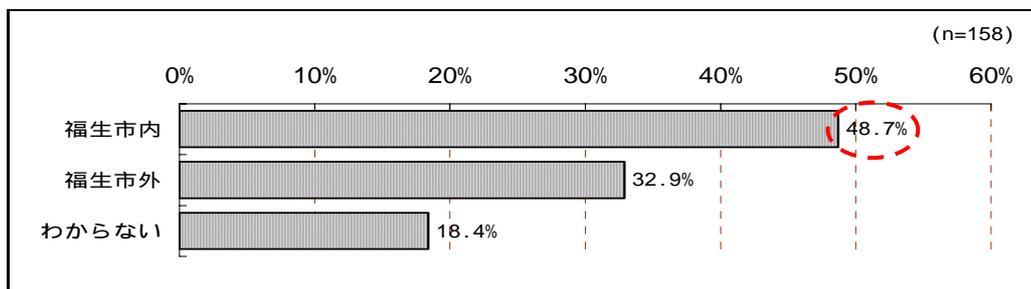
圧倒的に客数の減少の割合が大きく、62.6%に達している。次に多いのは客単価の減少、消費者意識の変化となっている。競合関連では、同業他社との競合が14.8%、大型店との競合が9.7%であった。



	客数の減少	客単価の減少	経費の増加	店舗の老朽化	人手不足	資金力不足	広告宣伝の不足	駐車場の不足	後継者難	立地が悪い	専門知識の不足	大型店との競合	同業他社との競合	コンビニとの競合	ディスカウントストアとの競合	商圏の狭小化	商圏人口の高齢化	商圏人口の減少	消費者意識の変化	商栄会、商店街の顧客吸引力の低下	福生市の顧客吸引力の低下	その他
福生商店街協同組合	65.5%	25.5%	16.4%	9.1%	3.6%	7.3%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	1.8%	5.5%	16.4%	0.0%	1.8%	3.6%	3.6%	5.5%	20.0%	16.4%	20.0%	7.3%
銀座商栄会	68.2%	34.1%	13.6%	15.9%	0.0%	22.7%	4.5%	11.4%	2.3%	2.3%	0.0%	13.6%	15.9%	0.0%	4.5%	0.0%	11.4%	6.8%	6.8%	22.7%	20.5%	2.3%
銀座中央商栄会	60.0%	44.0%	8.0%	4.0%	8.0%	8.0%	16.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%	4.0%	12.0%	0.0%	12.0%	0.0%	12.0%	4.0%	36.0%	16.0%	8.0%	0.0%
東銀座通り商栄会	73.3%	26.7%	13.3%	6.7%	0.0%	20.0%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	33.3%	6.7%	0.0%
栄通り商栄会	42.1%	42.1%	10.5%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	10.5%	15.8%	5.3%
東口駅前商栄会	54.5%	18.2%	36.4%	27.3%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%
牛浜商栄会	72.7%	45.5%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%
熊川商栄会	53.8%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	53.8%	15.4%	7.7%	0.0%
横田商栄会	77.3%	27.3%	0.0%	13.6%	9.1%	13.6%	0.0%	13.6%	4.5%	9.1%	0.0%	9.1%	13.6%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	31.8%	4.5%	18.2%	13.6%
福生武蔵野商店街振興組合	90.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%
本八商栄会	60.9%	13.0%	26.1%	8.7%	0.0%	8.7%	8.7%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%	4.3%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%	34.8%	4.3%	4.3%	0.0%
熊川武蔵野商栄会	77.8%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%

31)競合店はどこにありますか。

福生市内が 48.7%、福生市外が 32.9%と、福生市内の方が多い。

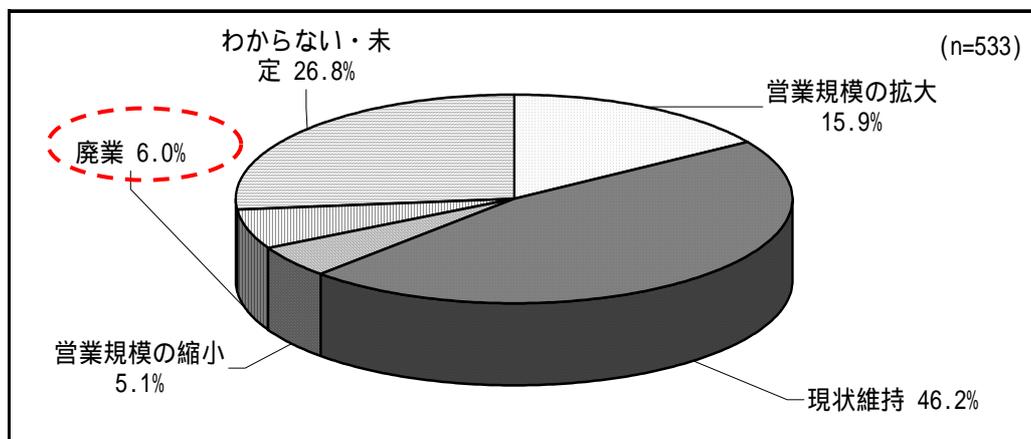


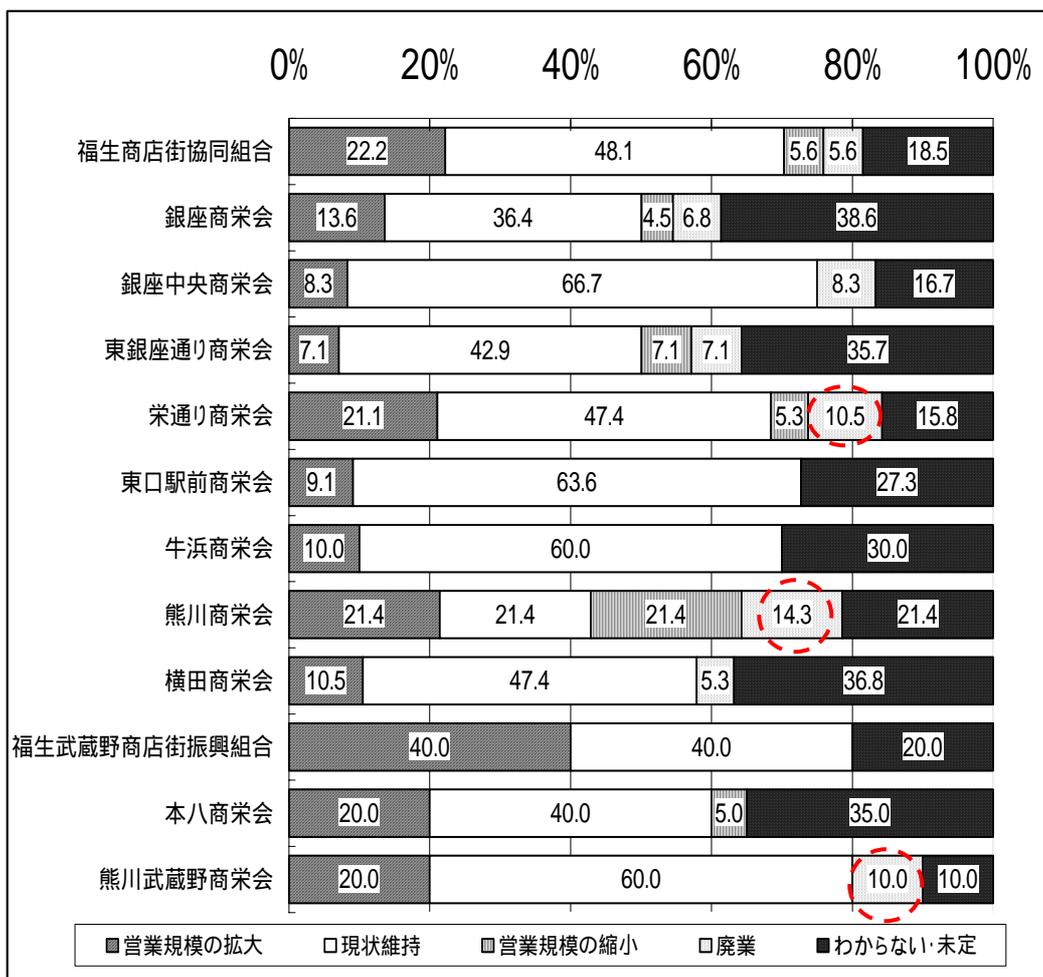
今後の経営方針について

現状維持が最も多く、廃業、営業規模の縮小を合わせると過半に達する。

32)今後の経営方針について、どのように考えていますか。

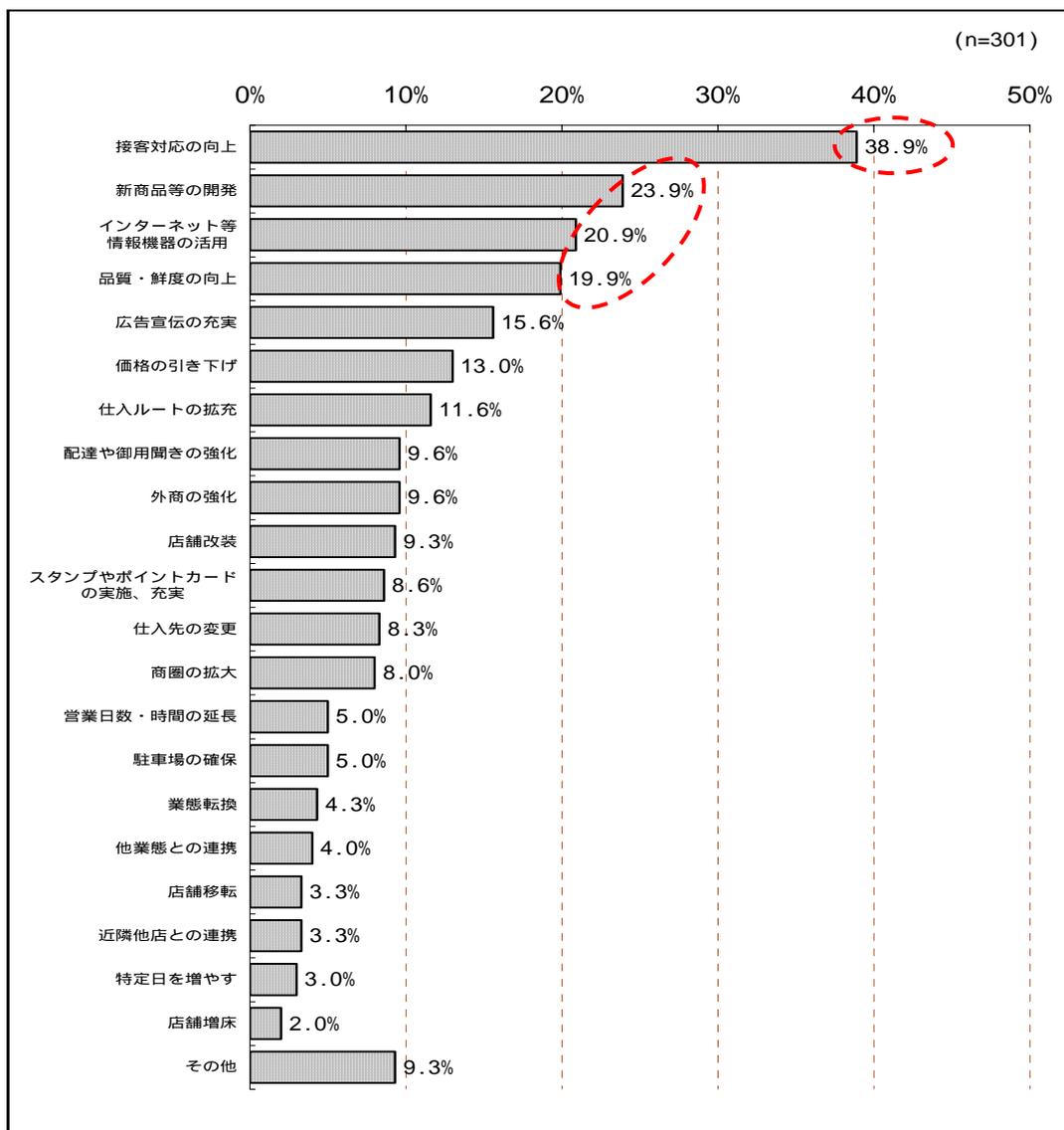
現状維持が 46.2%で最も多い。営業規模を拡大すると答えた企業が 15.9%あった。廃業は 6.0%、事業の縮小を考えている企業は 5.1%となっている。これを商栄会所属別に整理すると、熊川武蔵野、熊川、栄通りの 3 商栄会において廃業と回答している割合が 10%を超えている。





33) 問 5 での「営業規模の拡大」、「現状維持」と回答された方のみ、お願いします。
 拡大維持のために取り組もうとしていることは何ですか。
 拡大維持の為に取り組もうとしていることは、接客対応の向上が 38.9%と最も多く、
 新商品等の開発 23.9%、インターネット等情報機器の活用 20.9%、品質・鮮度の向上 19.9%、
 広告宣伝の充実 15.6%が上位にあるが、いずれも店舗の増床や改装などのハード面ではなくソフト面での活動に集中している。

第 章 福生市の商業環境 2. 事業者アンケート調査

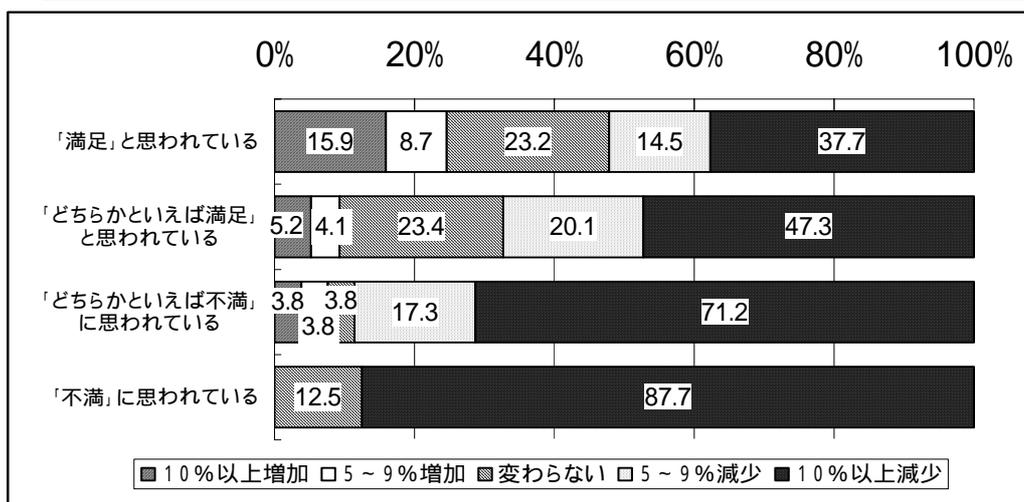
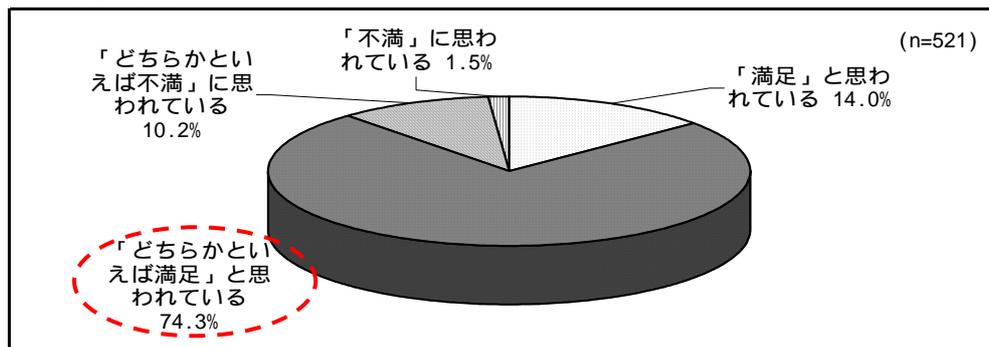


顧客からの評価について

顧客が満足していると考えている商業者の過半数が売上高を減少。

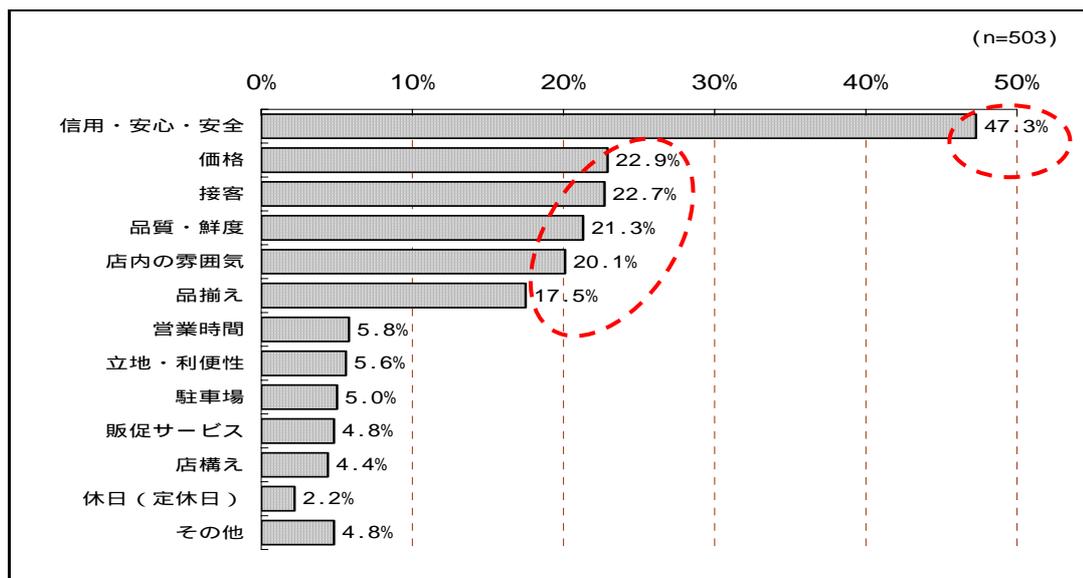
34)顧客から貴店はどのように評価されていると思いますか。

「満足」と思われているが 14.0%、「どちらかといえば満足」と思われているが 74.3%と、90%近くが顧客は満足していると思っている。これを売上高の増減で整理してみると、顧客が満足していると考えている商業者でさえも過半数で売上高が減少している。



35)前問に関連して、貴店のどのような点はその評価につながっていると思いますか。

信用・安心・安全が最も多く、47.3%が答えている。価格 22.9%、接客 22.7%、品質・鮮度 21.3%、店内の雰囲気 20.1%、品揃え 17.5%も比較的割合が高い。

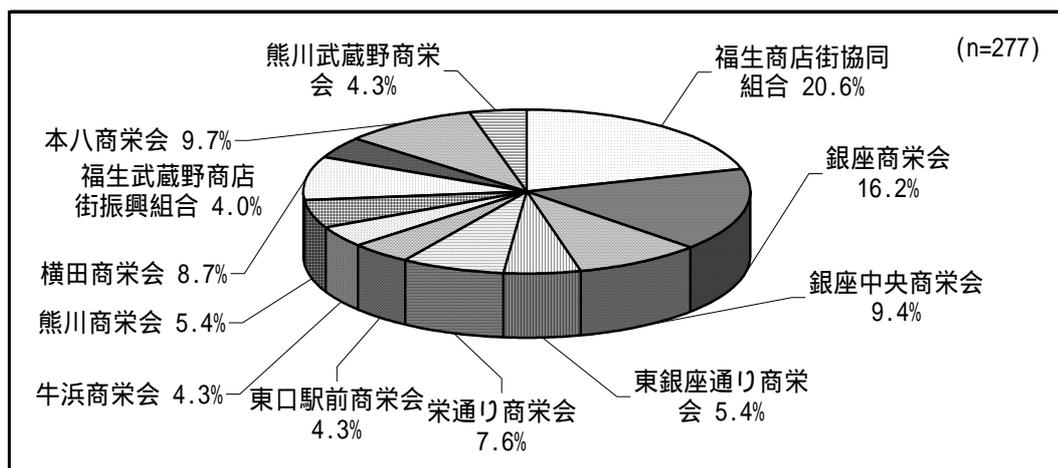


商栄会・商店街について

多くの方が、商栄会等の活動は売り上げ推進につながっていないと考えている。

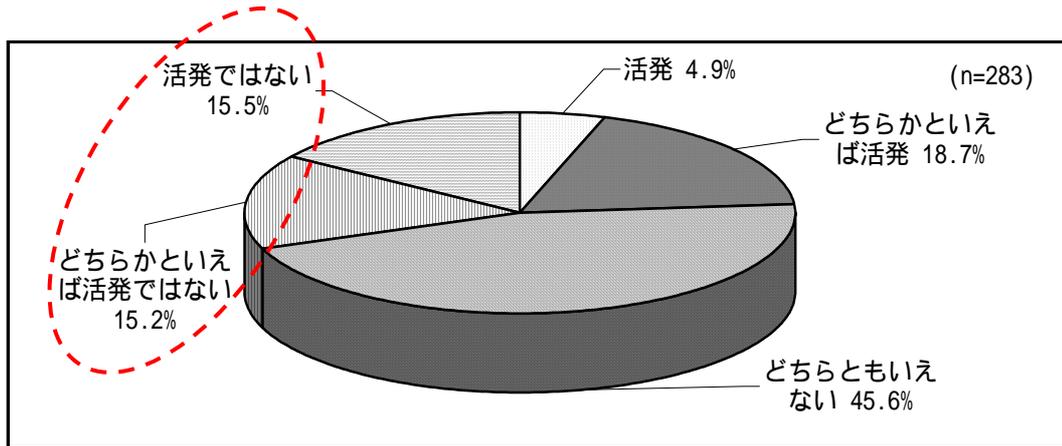
36) 加入している商栄会、商店街はどこですか。

加入している商栄会等では、福生商店街協同組合が 20.6%と最も多く、他に福生駅の西口にある銀座商栄会 16.2%、銀座中央商栄会 9.4%、東銀座商栄会 5.4%、栄通り商栄会 7.6%の 5 つの商栄会、商店街で 59.2%と半数以上を占めている。



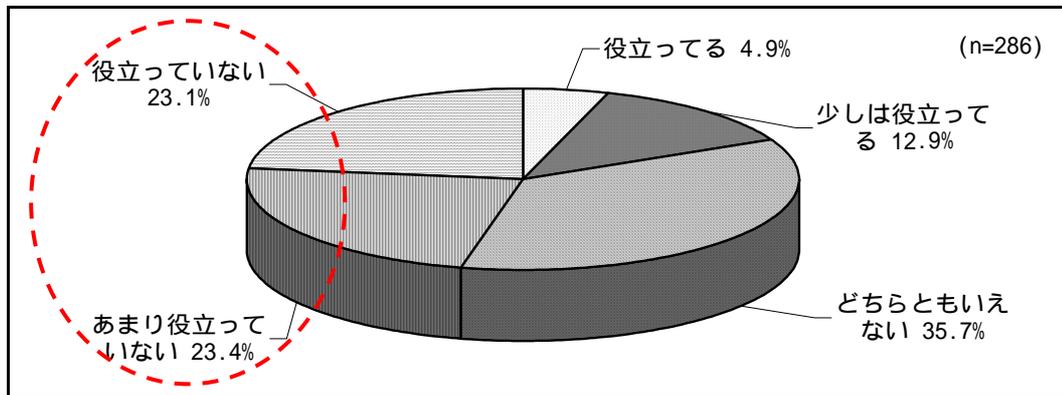
37) 活動は活発ですか。

商栄会等の活動については、活発・どちらかといえば活発を合わせると 23.6%、活発でない・どちらかといえば活発でない、を合わせると 30.7%となり、活発でないとする回答数が上回っている。



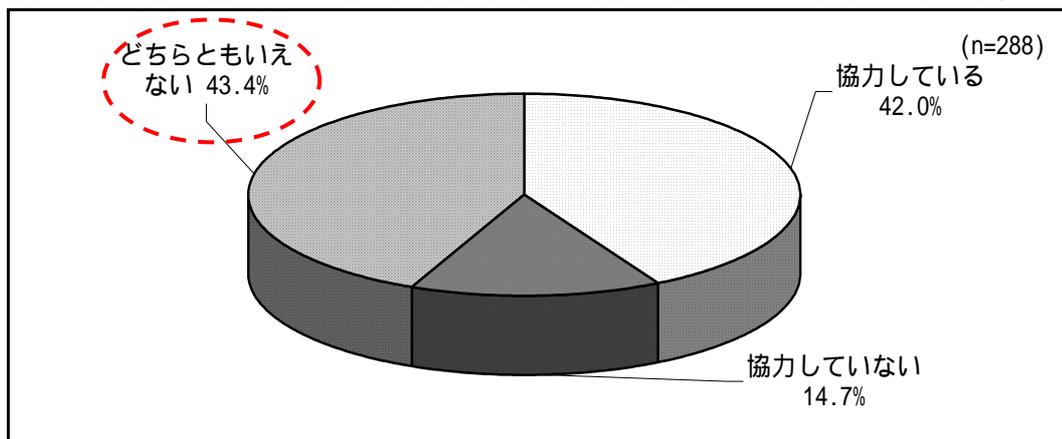
38)活動は売り上げ推進に役立っていますか。

役立っていない・あまり役立っていないを合わせると46.5%に達している。逆に、役立っている・少しは役立っている、を合わせても17.8%にしかならず、厳しい評価となっている。



39)活動に協力していますか。

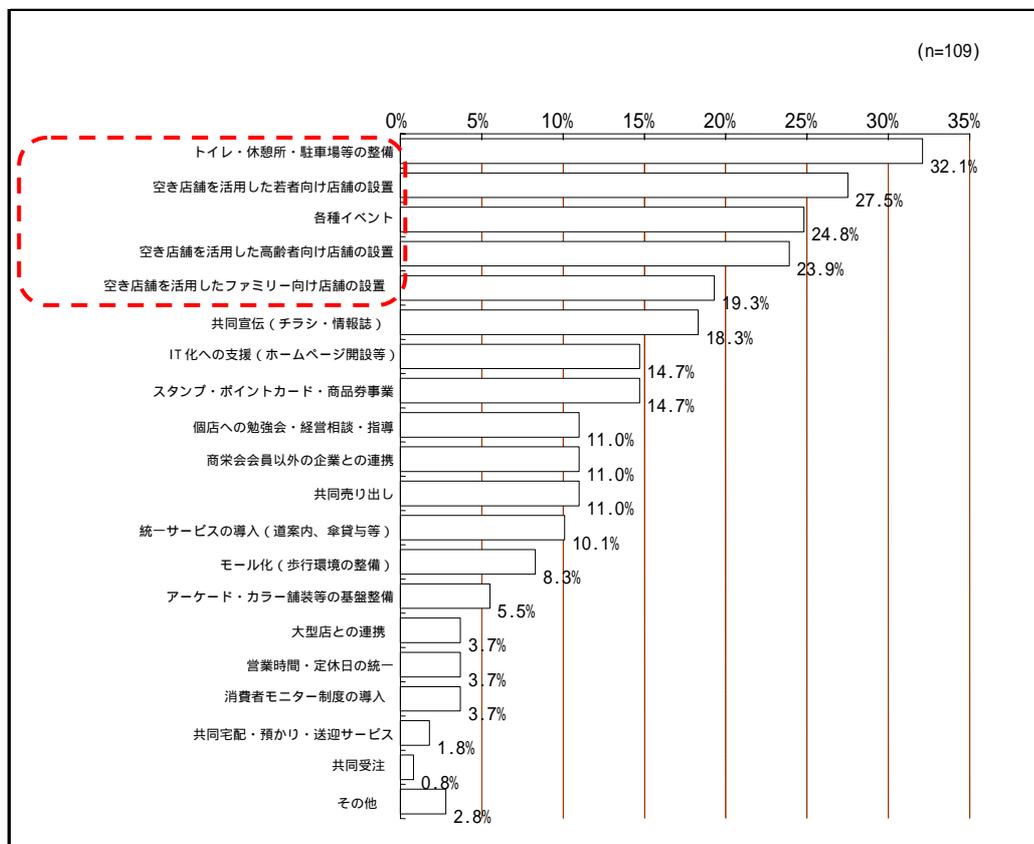
協力していないが14.7%、どちらともいえないが43.4%となっている。



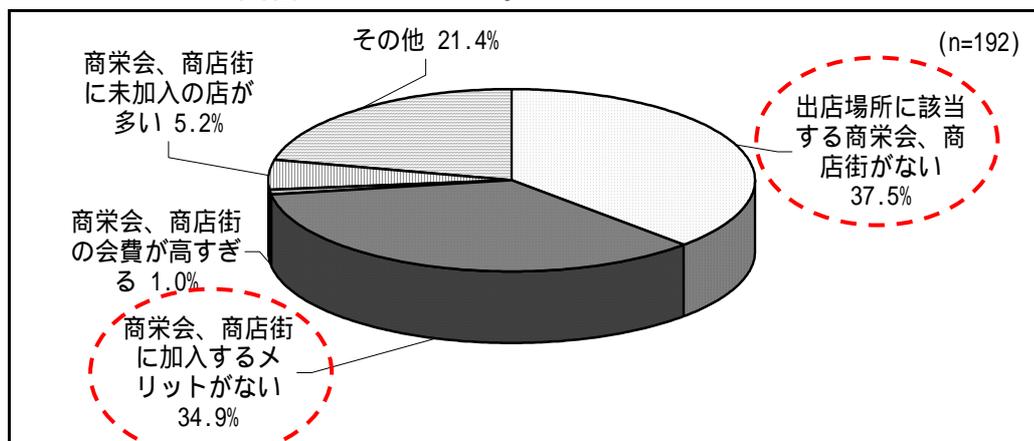
40)役員会などの決定事項は伝達されていますか。

伝わっていないが13.0%、どちらともいえないが23.2%となっている。

43) 今後、貴店が商栄会や商店街において取り組んでいきたい活動は何ですか。
 トイレ・休憩所・駐車場等の整備が 32.1% で最も割合が多かった。空き店舗対策が上位を占めているが、各種イベントが続いている。



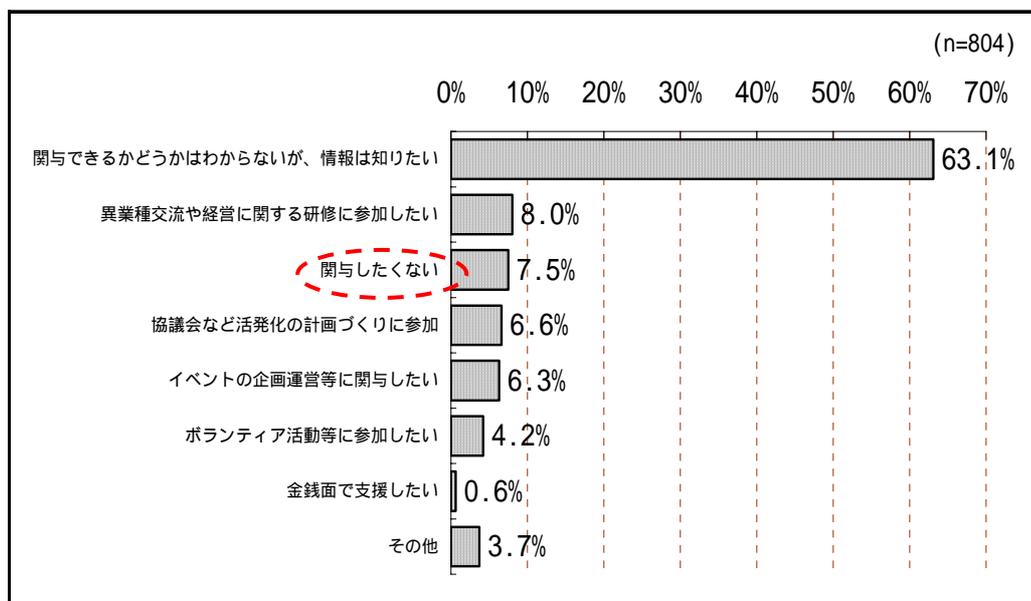
44) 商栄会、商店街に加入していないのはどうしてですか。最も近いものを選んでください。
 出店場所に該当する商栄会等がないとの回答が 37.5%、商栄会等に参加するメリットがないとの回答が 34.9% ある。



商業活性化への関与について

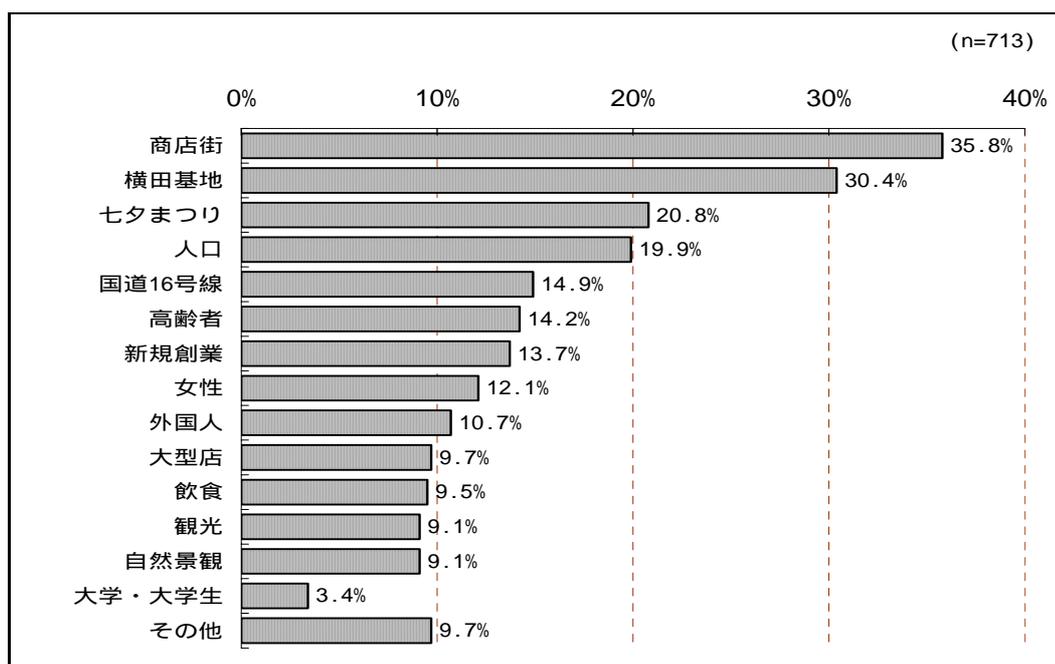
情報は知りたいと思っている事業者が圧倒的に多い。

45)事業所として、福生市の商業活性化への関与についてどのようにお考えですか。
関与できるかどうかはわからないが、情報は知りたいとする回答が圧倒的に多く、63.1%を占めている。一方、関与したくないが7.5%となっている。



46)福生市の商業活性化のためのキ - ワードは何だと思いますか。

商店街が 35.8%を占め、最も多かった。次いで横田基地が 30.4%、七夕まつり 20.8%と次いでいる。人口、国道 16 号線、高齢化、新規創業についても割合は高い。



47)福生市の商業活性化は、次のどれを目指すべきだと思いますか。

多くの近隣住民が買い物に訪れる状況が 35.1%と最も割合が多い。市外から買物客が集まる状況 28.9%がこれに次いでいる。

